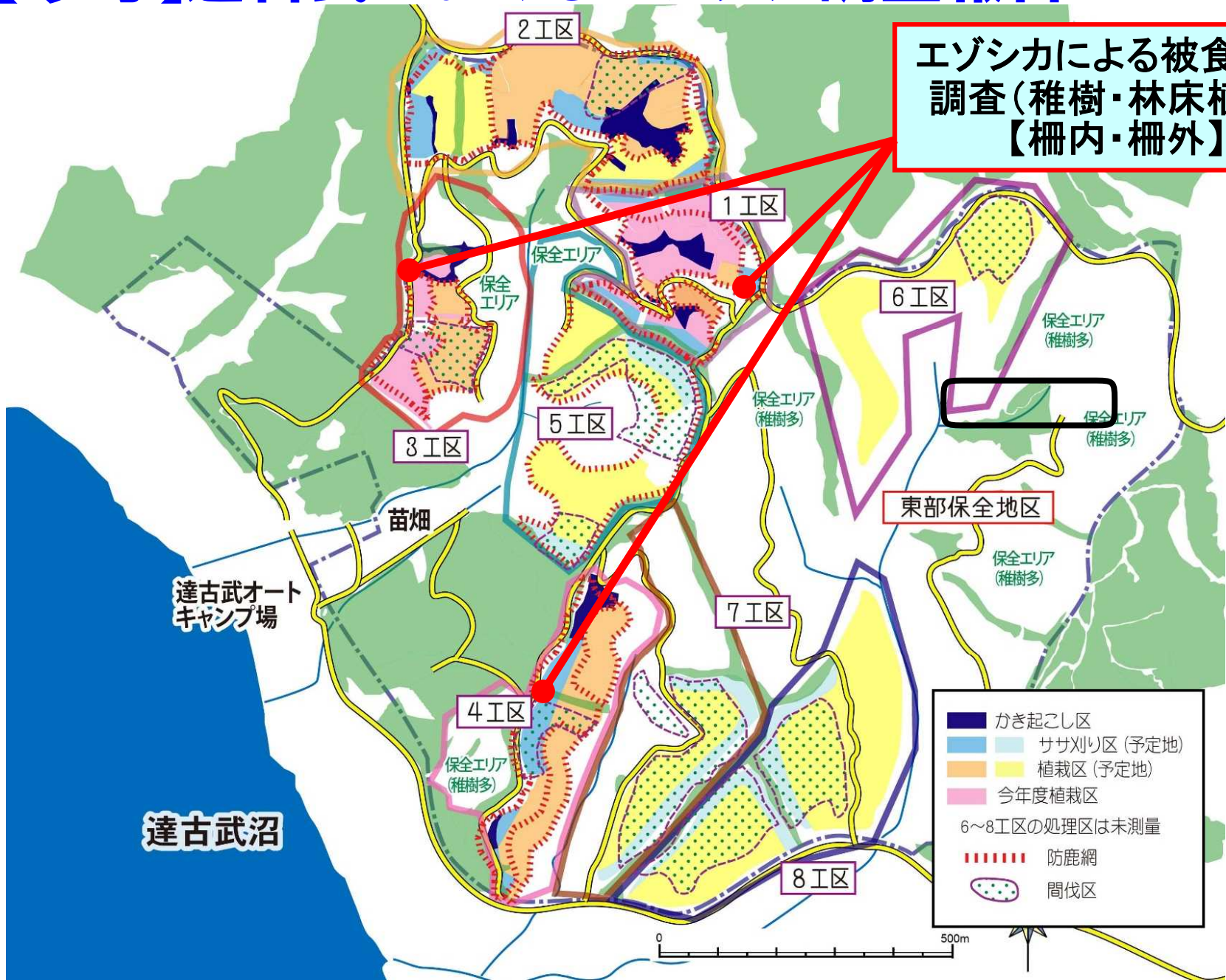


【参考】達古武におけるエゾシカ調査報告

参考資料 3

エゾシカによる被食状況
調査(稚樹・林床植物)
【柵内・柵外】



■エゾシカによる稚樹の被食状況①

再生過程（苗木の成長）の追跡

調査
目的

- 成長過程の把握、植栽手法の検証

対象
手法

- 植栽した苗木（防鹿柵内）の生存率・成長量を調査

調査植栽木

樹種	調査本数
アオダモ	47
ダケカンバ	66
ミズナラ	56
ハルニレ	1
ヤチダモ	2
計	172



ダケカンバ



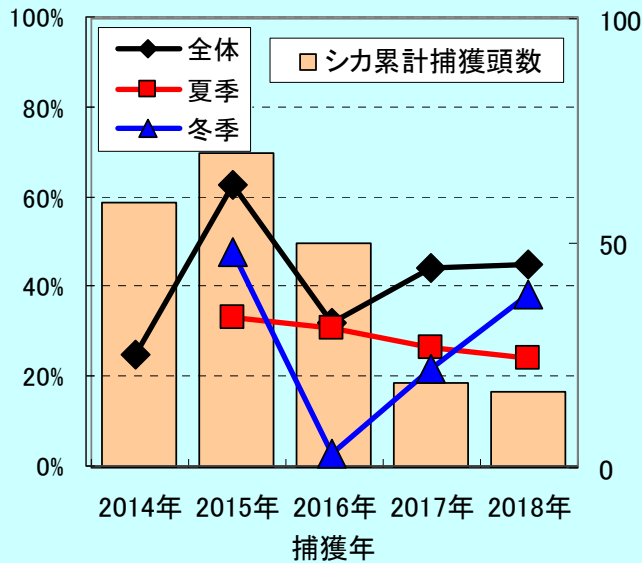
ミズナラ



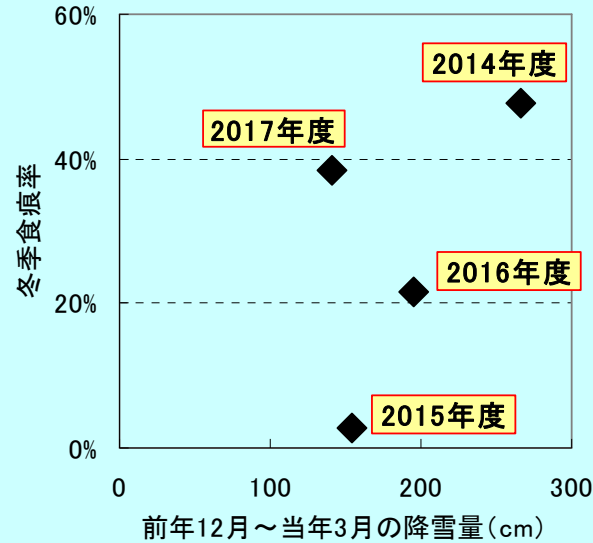
アオダモ

■エゾシカによる稚樹の被食状況②

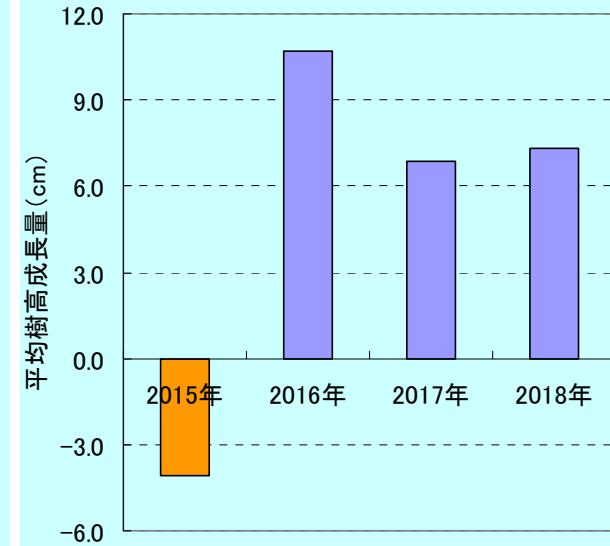
新規食痕の割合



総降雪量と冬季食痕率



平均樹高成長量



調査結果

- ❑ 冬季食痕率は増加傾向。
(エゾシカ密度増加?)
- ❑ 夏季の食痕は減少傾向。
(草本類の回復によりエサ資源が増加?)
- ❑ 樹高成長はプラスを維持。

方針

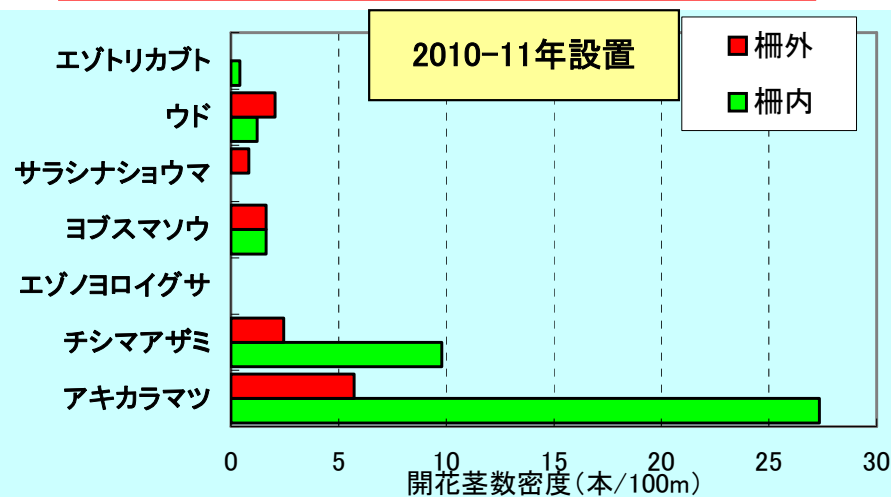
- ❑ 樹高成長は続いているが、被食影響が増えており、今年度は達古武地区での捕獲を休止することからも影響を注視する。

■エゾシカによる林床植物の被食状況

林床草本の開花茎数と食痕率

種名	出現 区間数	開花茎数			食痕率		
		合計	区間 最大	区間 最少	全体 平均	区間 最大	区間 最少
オトコエシ	19	893	143	1	4%	47%	0%
ヤマブキショウマ	16	775	184	2	20%	67%	0%
エゾイラクサ	7	372	253	3	1%	10%	0%
チシマアザミ	17	355	74	4	19%	51%	0%
オシダ	17	240	53	1	5%	60%	0%
アキカラマツ	19	210	39	1	17%	100%	0%
ヨブスマソウ	11	205	78	1	3%	8%	0%
クルマバナ	16	193	41	1	2%	27%	0%
サラシナショウマ	16	145	26	1	6%	18%	0%
ウド	9	132	37	4	32%	95%	0%
エゾノヨロイグサ	18	118	25	1	32%	100%	0%
オオヤマアザミ	6	68	25	2	0%	0%	0%
エゾトリカブト	15	64	14	1	44%	100%	0%
ツリガネニンジン	6	58	35	1	7%	9%	0%
全体	19	3941			6%		

柵内外の開花茎数の比較



調査結果

- 食痕率は0~44%で、嗜好性は異なる。
- チシマアザミ・アキカラマツは柵内では大きく回復しており、近年のエゾシカの影響が推察される。

